

協議事項1. 平成31年4月からの飛騨市公共交通について

1. 柏原線の変更及び神原峠線の試験運行について

① 経緯について

- ・平成27年3月策定 飛騨市地域公共交通網形成計画において、柏原線の運行を定め、同年10月から運行を開始した。
- ・神原峠を運行する便(以下「神原峠線」)が無くなったことにより、地元地域からは神原峠線再開への強い要望が続いていた。
- ・飛騨市公共交通会議において運行の可能性について協議した結果、飛騨市地域公共交通網形成計画の方針にそぐわないこと、同様に神岡古川を結ぶ古川神岡線と競合すること、国庫補助金との関係、かつての神原峠線では利用者が減少していたことなどから、再開は難しいとの判断に至った。
- ・その後も地元地域からは根強い再開の要望があるため、再度、神原峠線の運行方法について模索し、平成30年第1回飛騨市公共交通会議において、飛騨市地域公共交通網形成計画の枠外で実証実験として運行する方向性を定め、平成31年4月運行開始を目標とすることを決議した。



② 運行内容について

- ・試験運行期間は、1年間とする。
- ・運賃は、飛騨市内統一運賃を採用し、300円とする。
- ・実証実験として運行するものの、競合路線である古川神岡線への影響を考慮し、通勤通学時間帯での運行は避ける。
- ・経費及び運行体制の面において、新規での試験運行路線開設は困難であることから、既設の柏原線柏原パーキングから飛騨古川駅間を接続する路線とする。
- ・柏原線の効率性向上及び試験運行開始と併せて利便性を向上させるため、柏原線7便及び8便を廃止し、柏原線のダイヤを一部変更し、神原峠線に接続する。
- ・ダイヤについては、日中の通院を主な利用目的とし、かつ、濃飛バス古川高山線への接続も考慮する。
- ・ダイヤ詳細については別添のとおり



③ 地域住民との協議について

- ・平成30年8月～9月において、柏原線運行地域である山田地区及び柏原地区の全世帯にアンケート調査を実施回答世帯への全数聞き取り調査を実施
 - ・94世帯中19世帯から回答、25名から利用希望あり。
 - ・利用希望者からの利用見込みは66.3人／月(主に通院、買い物のため古川市街へ行く。)
 - ・柏原線7便及び8便の廃止については反対意見はなかった。(平成30バス年度実績 7便17名、8便10名)
- ・平成30年11月 山田地区及び柏原地区を含む、袖川地区市政報告会において運行方針について説明

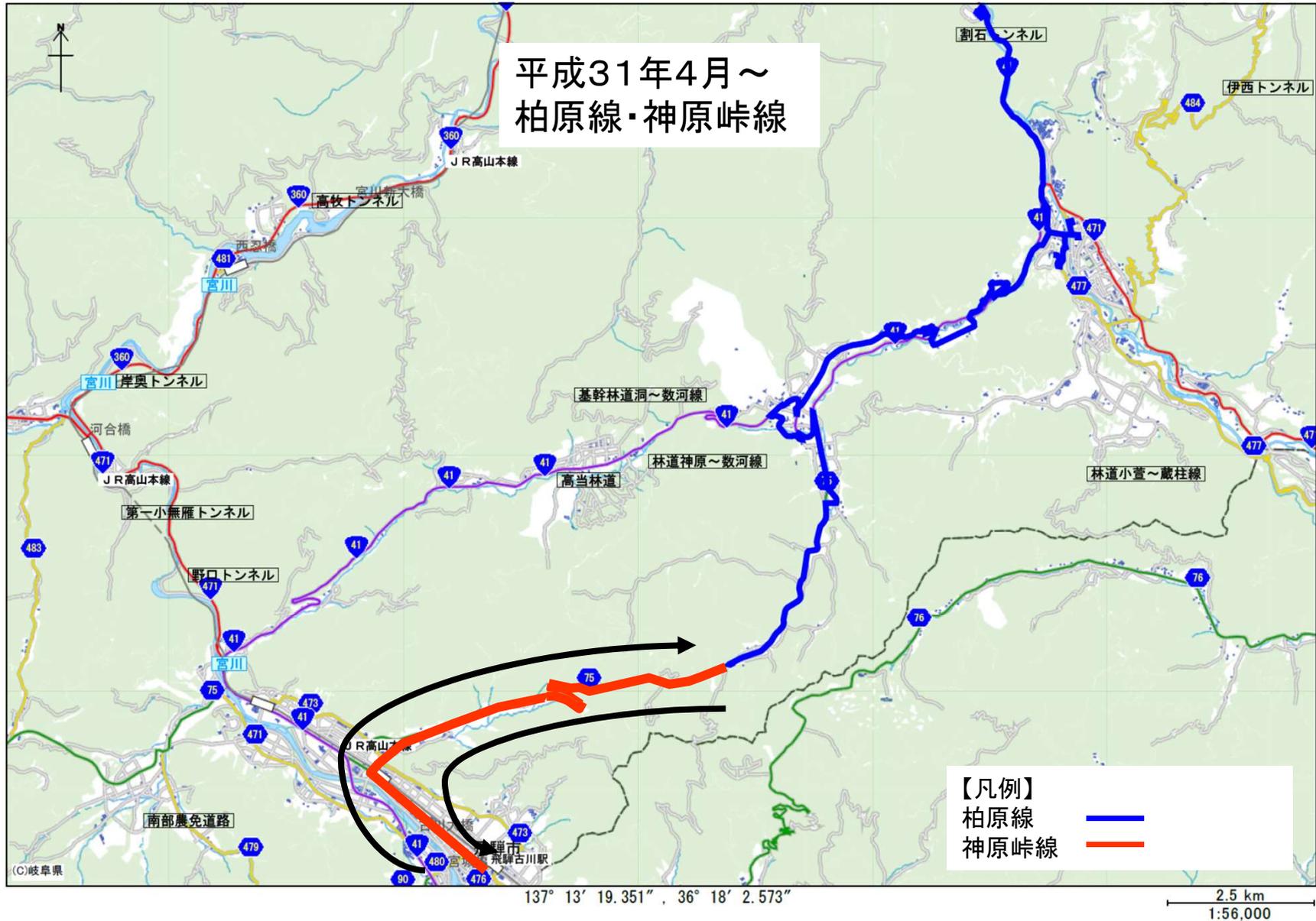


④ 今後のスケジュールについて

- ・第2回飛騨市公共交通会議での協議後、中部運輸局へ柏原線の変更及び神原峠線の試験運行開始について申請(1月中)
- ・議会説明(2月)
- ・市民周知(2月～3月)



平成31年4～ 運行開始



※ 柏原P⇒飛騨古川駅は降車専用 飛騨古川駅⇒柏原Pは乗車専用